

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの生活研究所めばえ学園		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの子どもへの理解に基づき、子どもの状態や特性、発達段階に応じた支援を、職員間で共有し、一貫して行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して楽しく通園できるような環境設定や配慮を徹底しています。 ・写真や絵等を活用し、子どもに応じたわかりやすい伝え方や意思疎通の仕方を工夫しています。 ・子どもの行動の背景にある心の動きや事情を汲み取り、気持ちを代弁しながらやり取りしていくことで、人への安心感や信頼感を育てます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態や発達段階に応じた活動やプログラムのバリエーションを増やして行くよう努めます。 ・子どもの要求表現や選択の幅を広げ、自発性・主体性の発揮を促していくようなかかわりを心がけます。
2	子どもの発達支援を進める上で、家族との連携を大切にしています。家族が安心して、子どもを理解し適切な対応をできるようになるための様々な支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、送迎時や連絡帳、電話等で、保護者と子どもについての情報共有をし、共通理解を持つていくことを大事にしています。 ・保護者会や個別面談、看護師との相談・助言、保育参観、専門講師による動作法の親子セッション、療育勉強会、就学についての情報提供等、様々な機会を設定しています。 ・保護者の相談や申し出には、迅速な対応を心掛けています 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもとの適切なかかわり方を学び、より良い関係形成がなされていくための支援を、積極的に進めていきたいと考えています。(実際の場面でかかわり方のモデルを示したり、助言を行う等)
3	同敷地内に法人の運営する認可保育所があり、日常的に交流しやすい環境にある。	園庭等の遊び場を共有したり、季節行事を一緒に行う等、交流の機会を作っている。	個々の子どもの状態や発達段階に応じて、実際に交流が生じ、子ども自身の経験が広がっていくよう、具体的に検討しながら進めていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	BCPや、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等、各マニュアルは策定されているが、職員や保護者への周知が不十分で、マニュアルが生かし切れていない状況があります。	形として作成したものの、運用が追い付かず、現実的なものとして身につけにくいと思われます。	現実的に発生した状況を想定し、実効性のあるマニュアルにすべく継続的見直し、改定していく必要があります。訓練も時間を確保して、繰り返し行っていく必要を感じています。
2	アセスメントにおいて、経験的な判断やインフォーマルなアセスメントに頼っているところが大きく、客観性に欠けることや偏りがありがちです。	標準的なアセスメントツールの活用が進んでいないことがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成を通して、支援の5領域について、客観的な視点でバランスよくとらえていくよう、チームで検討しながら取り組んでいくよう心がけます。 ・専門職との連携を強化するとともに、基本的な子どもの発達についての研修の機会を設けることを検討していきます。 ・標準化されたアセスメントツールの導入について、検討していきます。
3	児童発達支援センターの役割として、地域支援の取り組みが不十分なところがあります。	小規模であるため、人力的に厳しい状況があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、当面、併用している事業所との連携を積極的に進めていくようにし、その中で、子どもの適切な理解や対応について発信していくよう努めていきます。 ・当事業所で実施している保育所等訪問支援を充実、定着させていくよう努めます。